

授業科目名		担当講師名	対象学年
老年看護学実習Ⅱ		脇田 真由美他	2 年次
授業形態	単位 (時間)	実習場所	
実習	2 (90)	大島郡医師会病院・国立療養所奄美和光園	
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。		
学修内容	健康障害をもつ老年期の患者・家族を理解し、看護上の問題を計画・実施・評価することができる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある対象の健康障害の特性について理解し情報収集、計画立案ができる。 2. 老年期にある対象に適した態度を養うことができる。 3. 老年期にある対象の QOL を高めるための援助を実施できる。 4. 評価に基づいて看護計画を修正、変更できる。 5. 継続看護の視点から、保健医療福祉チームの一員として看護の役割が理解できる。 6. 老年者の QOL 向上を目指した看護援助を通して、自己の老年観を育むことができる。 		
事前学習	老年看護学実習Ⅰの事前学習内容、摂食嚥下障害のある患者の看護、慢性心不全患者の看護、パーキンソン病患者の看護、ハンセン病後遺症(知覚障害、視覚障害)		

授業計画

No.	授 業 内 容
1 日目～15 日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習を提出する。 2. 受け持ち患者：老年期にあり援助を要するニーズの高い患者 3. 実習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> 1) ヘンダーソンの理論に基づいた基本的看護を行うための情報収集をし、看護過程を展開する。 2) 2 週目にケースカンファレンスを実施 3) 一人の患者を受け持つ
履修上の要件	老年看護学実習は、老年看護学Ⅰ、Ⅱを修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座専門基礎分野 社会福祉 医学書院
成績評価の方法	老年看護学実習Ⅱ評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の評価
備考	